

病第 3 号議案

平成 28 年度横浜市病院事業会計補正予算(第 1 号)の概要について

予算補正の趣旨

市民病院では、がん治療のための外来化学療法を行っており、高額ながん治療薬の使用量も増加しています。これらの薬品購入費の大幅な増加に伴い、材料費が当初予算額を上回る見込みです。平成 28 年度予算における医業費用(材料費)を 374,000 千円増額します。

また、この財源として、外来化学療法の収入を充てることとし、医業収益(外来収益)についても 374,000 千円増額します。

(1) 薬品費の増額

款	項	目	既決予算額 (千円)	補正予算額 (千円)	計 (千円)	説 明
1	市民病院 事業費用		22,287,165	374,000	22,661,165	
	1 医業費用		21,061,728	374,000	21,435,728	
		2 材 料 費	5,497,079	374,000	5,871,079	薬品費を増額
	合 計		32,270,432	374,000	32,644,432	

(2) 薬品費の増額に伴う外来収益の増額

款	項	目	既決予算額 (千円)	補正予算額 (千円)	計 (千円)	説 明
1	市民病院 事業収益		21,387,208	374,000	21,761,208	
	1 医業収益		19,888,596	374,000	20,262,596	
		2 外 来 収 益	5,248,800	374,000	5,622,800	薬品費の増に伴う 外来収益の増額
	合 計		32,270,432	374,000	32,644,432	